

川俣町 農業委員会だより

第26号

令和4年3月1日

川俣町農業委員会

川俣町字五百田30

☎566-2111

会長就任あいさつ

川俣町農業委員会

会長 菅 野 儀 政

日頃より本町農業委員会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、農業委員の任期満了に伴う改選により、令和3年2月から引き続き会長職に指名を頂き、身の引き締まる思いでおります。

農業を取り巻く環境は厳しく、農業者の高齢化や、後継者及び担い手不足、遊休農地の増加や食料自給率の低下、加えて新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内消費の低迷による農産物価格の低下等、様々な課題を抱えております。

農業委員・農地利用最適化推進委員は、それぞれの課題解消に向け、町民及び農業者の皆様、農業団体、関係機関との連携のもと、本町農業の発展に取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

令和4年度

川俣町の農地利用の最適化に関する施策について

町長に意見書を提出

令和3年11月16日、町に対して令和4年度の農業施策を重点に取り組むよう、意見書を提出しました。

意見項目

- 1 米価下落対策について
 - (1) 水稲生産者の支援について
- 2 新型コロナウイルス対策について
 - (1) 農業者支援について
- 3 原発事故からの復旧・復興への施策
 - (1) 農地・林地の保全について
 - (2) 安全な農林産物の放射能対策について
- 4 継続的施策
 - (1) 国内対策等の強化について
 - (2) 担い手の育成確保・集落営農推進対策について
 - (3) 認定農業者の育成
- 5 女性農業者への取り組みについて
- 6 鳥獣被害対策の強化について
- 7 耕作放棄地対策の実施



- 8 環境保全対策の取り組みについて
- 9 農業生産支援対策について
- 10 山木屋地区の営農再開の推進について
- 11 農業委員会及び事務局体制について

令和3年度 福島県下農業委員会大会

令和3年度福島県下農業委員会大会が令和3年11月11日に福島市の「パルセイイざか」において開催されました。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、出席人数の制限があり、本町から農業委員・農地利用最適化推進委員2名が参加しました。

はじめに、永年勤続農業委員（12年以上在任）の表彰があり、本町の菅野利治委員が受賞されました。

また、東京農業大学名誉教授の門間敏幸氏による「農業・農村コミュニティの活性化と農業委員会への期待」についての記念講演もありました。

大会では、福島県が台風や降霜など度重なる自然災害や東日本大震災・原子力発電所事故による被害から未だ復旧・復興しておらず、担い手の減少や高齢化とこれらに伴う遊休農地の増大、大規模災害や野生鳥獣害等多くの課題が山積しており、農業の生産構造並びに体質の強化等を図るため、「本県農業の発展に向けた要請書」及び「令和3年度県農業施策に関する意見書」の提出が報告されました。



菅野利治委員

農地利用状況調査を実施しました

令和3年10月18日に、農業委員及び農地利用最適化推進委員が5班に分かれ、町内の農地について、農地の「利用状況調査」（農地パトロール）を行いました。

この調査結果をもとに、遊休農地と判断された農地の所有者に今後その農地をどのように利用する意向であるか「利用意向調査」を行いました。



農地にかかる手続きは 農業委員会へ

- 農地の売買や貸し借り
 - 農地に住宅を建築したい、駐車場・資材置場にしたいなど農地を農地以外の目的で利用したいとき
 - 農地に盛土をしたいとき
 - 農地を相続したとき など
- 農業委員会へ申請手続きや届け出が必要となります。

全国農業新聞

発行：毎週金曜日(月4回発行)

購読料：月額700円

購読申込先：農業委員会事務局



国が支える。安心が大きくなる

担い手 積立年金

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は①～③の要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

- ①年間60日以上農業に従事
- ②60歳未満
- ③国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く)

※詳しくは農業委員会事務局かお近くのJ Aへ

新任のご挨拶

農業委員・農地利用最適化推進委員は、令和3年2月19日に新体制となり、約1年が経過しました。
新たに任命された5名の方よりあいさつをいただきました。

農業委員

佐藤 朋子

農業委員（中立委員）として、地域農業の実態を把握し、本町の食を支える地域農業のために、少しでも貢献できるよう努めます。

農業委員

安田 泰良

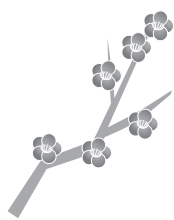
これまでの農業は高齢化が進む中、担い手不足、耕作地や遊休農地の有害鳥獣による被害が増大し、対策を模索しています。

これからは農業生産意欲の出る農業・農地の維持管理を地域の皆様と共に前進出来るよう、頑張っております。

農地利用最適化推進委員

遠藤 政信

担い手不足、農業従事者の高齢化、遊休農地の拡大、米価の下落等厳しさが増す環境ではありますが、各委員の皆様に御指導頂き努力して参ります。



農地利用最適化推進委員

菅野 幹雄

地域農業振興に少しでも寄与できるよう、農業の持つ魅力を実践しながら発信し、農地の有効活用が進むよう頑張ります。

農地利用最適化推進委員

佐々木 敏勝

農業委員・農地利用最適化推進委員の皆様と共に、農地に関する様々な相談や課題に取り組み地域農業維持のため活動して参ります。

空き家に付随する

農地の面積要件緩和

空き家等バンクに登録した空き家と一体的に農地を取得する場合で、一定の条件を満たす場合に限り、0.1aから農地を取得することができるようになりました。
人口減少、農業者の高齢化、後継者不足等により売買や賃借が難しい空き家に付随した農地について、下限面積を引き下げること、移住・定住の促進や遊休農地の解消の促進を図ることを目的としています。

新規就農者

佐藤卓也さんにインタビュー

羽田地区で川俣シャモの生産や水稻・小菊の栽培等を行っている佐藤卓也さんに新規就農から4年目の心境についてお話を伺いました。

Q 就農するきっかけはなんでしたか？

A 元々農家で育った私が40歳を迎えたときに、定年までの折り返し地点と、人生の折り返し地点が重なり、「就農するならキリが良い今かなあ」と思ったことです。

A 苦労しながらも高品質のものが出来上がった瞬間とその過程です。また、農業を通じて地域の方々とコミュニケーションを図れることです。

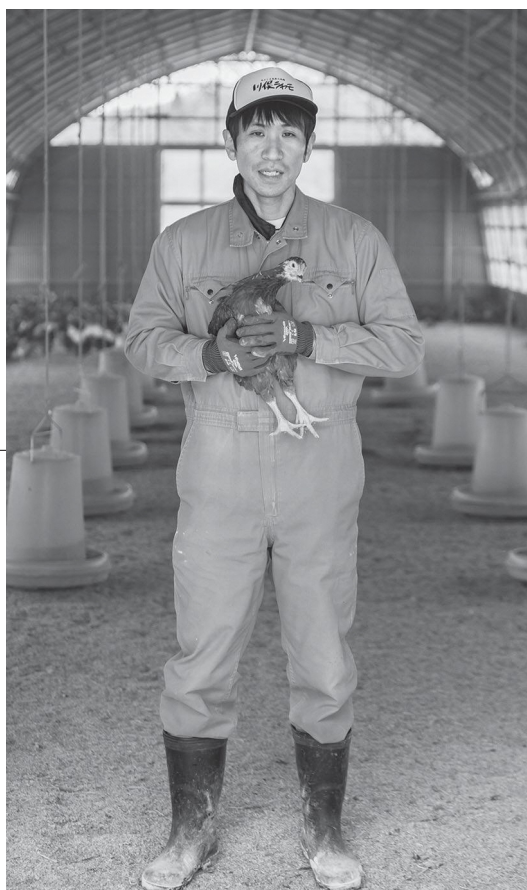
Q 今後新規就農する方々へアドバイスやメッセージはありますか？

A 農業はひとりではできません。家族の理解と協力を得ることと、相談できる地域の方々と関係機関が必要です。実際は私がアドバイスをいただきたいです!!

Q 今後の展望や目標は何ですか？

A 地域の方々に慕われる農業人になることです。

Q 農業のやりがいや面白さは何ですか？



令和3年産 水稻作状況調査報告

令和3年9月16日に水稻の作況調査を実施いたしました。調査方法は、平年作と比較できるように定めてある定点圃場を中心に17圃場を調査いたしました。作柄概況は、10a当たり459キロの調査結果となりました。



あとがき

長引く新型コロナウイルスの影響、不安定な気象状況に加えて米の価格が一段と下がり、規模拡大の難しい中山間地域の多い、本町では耕作意欲がなくなり益々耕作放棄地が増加する懸念があります。

農業委員会では、行政やJAの協力を得ながら、新しい作物の導入や新規就農者への支援等をしていかなければならないと思っています。

今年は、穏やかな気候で、早く新型コロナウイルスが収まってもらいたいと願っています。

佐藤 吉彦
安田 泰良
高橋 亨
高橋 忠俊
遠藤 政信

